

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 藤商事

上場取引所 東

コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 孝司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 村上 和繁

TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,617	41.9	3,373		3,332		3,823	
2020年3月期第2四半期	11,398	10.3	1,319		1,377		1,266	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,110百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 923百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	170.75	
2020年3月期第2四半期	56.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	41,261	36,335	88.1
2020年3月期	46,657	40,006	85.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 36,335百万円 2020年3月期 40,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期		25.00			
2021年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	2.3	1,000		1,000		2,000		89.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

・業績予想については、本日(2020年10月30日)公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	24,395,500 株	2020年3月期	24,395,500 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,000,045 株	2020年3月期	2,000,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	22,395,455 株	2020年3月期2Q	22,395,455 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、第2四半期決算説明会(アナリスト、機関投資家向け)の開催を見送ることいたしました。なお、四半期決算補足説明資料は、2020年10月30日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、政府主導による各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きがみられました。しかしながら、今後の国内外における感染症の動向や世界経済の見通しなどには十分留意することが必要な状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として過度の射幸性を抑えた遊技機の導入に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じるなど、さまざまな施策を通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。また、遊技機業界におきましては大衆娯楽としてのパチンコ・パチスロの魅力を備えた多種多様な遊技機の開発を推進しております。

当連結会計年度は新規則機への移行が本格化するものと想定しておりましたが、パチンコホール様の旧規則機の撤去期限がおおむね1年延長されたことにより新規則機への入替需要が先送りとなり、上半期の新台市場の販売台数はパチンコ・パチスロともに低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては徹底した市場ニーズの調査、お客様目線の追求による稼働力向上を最重点課題として、安定した業績の確保と中長期的な成長の実現に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、パチンコ遊技機にて低確率時に規定回数まで大当たりしなかった場合に時短に突入する新システム「遊タイム」を搭載したホラータイトルの人気シリーズ機種や時代劇ヒットタイトルの続編機種を投入するなど、新たな魅力をプラスした新機種を市場投入することにより、販売台数の確保に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高66億17百万円（対前年同期比41.9%減）、営業損失33億73百万円（前年同期は営業損失13億19百万円）、経常損失33億32百万円（前年同期は経常損失13億77百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失38億23百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億66百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、「Pリング 呪いの7日間2」（2020年4月発売）、「P 遠山の金さん2 遠山桜と華の密偵」（2020年7月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は16千台（対前年同期比41.7%減）、売上高は66億12百万円（同41.8%減）となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機につきましては、当第2四半期連結累計期間での新機種の発売はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は249億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億27百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が4億48百万円増加したことに対し、現金及び預金が43億25百万円、受取手形及び売掛金が15億62百万円減少したことによるものであります。固定資産は163億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が8億89百万円増加したことに対し、繰延税金資産が7億43百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は412億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億96百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は31億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億41百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が13億1百万円減少したことによるものであります。固定負債は18億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が15百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は49億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億25百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は363億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億70百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失38億23百万円および剰余金の配当5億59百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は88.1%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、164億96百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、37億13百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少額15億62百万円、減価償却費8億70百万円が増加の要因であり、税金等調整前四半期純損失33億51百万円、仕入債務の減少額14億85百万円、たな卸資産の増加額8億10百万円が減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、52百万円となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入6億円が増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出6億42百万円が減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億59百万円となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績動向に対する影響に加えて、パチンコホール様および遊技機業界の見通しなどの精査が必要なため未定としておりましたが、このたび、現時点において入手可能な情報および予測に基づいて算定しましたので、公表いたします。

詳細は、本日別途開示する「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,222	16,897
受取手形及び売掛金	2,670	1,108
商品及び製品	0	449
原材料及び貯蔵品	3,883	4,245
前渡金	2,067	1,558
その他	894	850
貸倒引当金	△156	△153
流動資産合計	30,582	24,954
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,251	3,140
土地	3,152	3,152
その他（純額）	2,020	2,223
有形固定資産合計	8,424	8,516
無形固定資産		
投資その他の資産	312	309
投資有価証券	2,858	3,748
長期前払費用	2,830	2,843
繰延税金資産	1,016	272
その他	1,121	1,106
貸倒引当金	△489	△490
投資その他の資産合計	7,338	7,480
固定資産合計	16,075	16,307
資産合計	46,657	41,261

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,048	1,746
未払法人税等	167	67
賞与引当金	312	318
その他	1,318	971
流動負債合計	4,845	3,104
固定負債		
退職給付に係る負債	900	915
その他	905	906
固定負債合計	1,806	1,822
負債合計	6,651	4,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	35,307	30,923
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	39,493	35,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	1,246
退職給付に係る調整累計額	△27	△19
その他の包括利益累計額合計	512	1,226
純資産合計	40,006	36,335
負債純資産合計	46,657	41,261

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	11,398	6,617
売上原価	5,507	3,632
売上総利益	5,890	2,985
販売費及び一般管理費	7,210	6,358
営業損失（△）	△1,319	△3,373
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	40	23
貸倒引当金戻入額	30	—
利用分量配当金	2	11
その他	28	14
営業外収益合計	103	50
営業外費用		
賃貸収入原価	2	3
貸倒引当金繰入額	50	—
シンジケートローン手数料	107	6
その他	0	0
営業外費用合計	160	9
経常損失（△）	△1,377	△3,332
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券評価損	0	19
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,377	△3,351
法人税、住民税及び事業税	8	44
法人税等調整額	△119	427
法人税等合計	△111	472
四半期純損失（△）	△1,266	△3,823
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,266	△3,823

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純損失（△）	△1,266	△3,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	705
退職給付に係る調整額	1	7
その他の包括利益合計	343	713
四半期包括利益	△923	△3,110
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△923	△3,110

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,377	△3,351
減価償却費	945	870
貸倒引当金の増減額（△は減少）	19	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△148	6
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△46	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	18	35
受取利息及び受取配当金	△42	△24
固定資産売却益	—	△0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益（△は益）	0	19
売上債権の増減額（△は増加）	1,228	1,562
たな卸資産の増減額（△は増加）	485	△810
前渡金の増減額（△は増加）	△238	508
長期前払費用の増減額（△は増加）	△42	△88
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,246	△1,485
未払金の増減額（△は減少）	272	△404
その他	88	△440
小計	△83	△3,606
利息及び配当金の受取額	43	25
法人税等の支払額	△331	△132
法人税等の還付額	802	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	430	△3,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500	600
投資有価証券の取得による支出	△100	—
有形固定資産の取得による支出	△1,214	△642
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△22	△25
その他の支出	△51	△1
その他の収入	5	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△882	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△559	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559	△559
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,011	△4,325
現金及び現金同等物の期首残高	21,810	20,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,799	16,496

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。